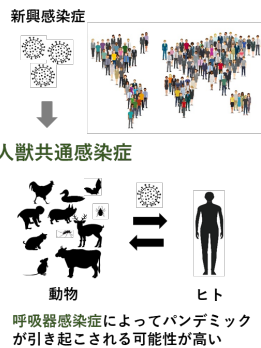


北海道大学ワクチン研究開発拠点 (IVReD)

「先回り戦略」で呼吸器感染症に対する
国産ワクチンを速やかに提供する

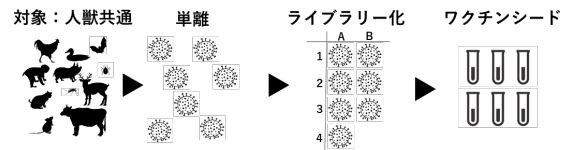
拠点長 澤 洋文

感染症とパンデミック



国産ワクチンを速やかに提供できる体制

「先回り戦略」：人獣共通感染症のライブラリーをすでに作成



国産ワクチン開発・生産体制構築に貢献する基礎研究

ワクチン開発に資する基礎研究を推進するとともに、学内外の関係機関との協力・連携により得られた成果を導出し、社会実装する体制を構築

- 呼吸器感染症を中心とした人獣共通感染症病原体のワクチン開発研究を推進

特に伝播経路が他の感染症に比べて多彩であり、**次のパンデミックを起こす可能性が高い呼吸器感染症**であるインフルエンザ、コロナウイルス感染症、結核等の**人獣共通感染症を対象とした開発研究**を推進

- 北大病院はじめ学内部局等と協力体制
- 国内研究機関・企業および海外研究機関との連携体制

— 拠点の成果

2022年度、北海道のキタキツネから本邦で初めてH5N1亜型高病原性鳥インフルエンザウイルス株※1を単離し北大インフルエンザライブラリーに収蔵※2

※1：(A/Ezo red fox/Hokkaido/1/2022-like)
※2：(Virology 578 (2023) 35-44)



国立感染症研究所
(WHO Collaborating Centre)

動物由来インフルエンザウイルスの解析

- ・遺伝子解析、抗原性解析
- ・フェレット抗血清の作成・管理
- ・その他のリスク評価実験（伝播性試験、病原性試験）



World Health Organization

2024年2月：WHOのInfluenza vaccine composition meetingsにおいて**Candidate Vaccine Viruses (CVV)**として認定



日本国の施策としてのワクチンメーカーによる500万ドーズの備蓄ワクチン製造